

公開シンポジウム

放射能汚染地域におけるシイタケ 原木生産林の利用再開・再生

放射性セシウムに汚染された地域において原木生産を再開するためには、放射能汚染の状況に応じて課題を整理し、柔軟に対応することが重要です。

研究コンソーシアム「シイタケ再開共同研究機関」では、短期的に解決可能な課題と中長期的な対応が必要となる課題に取り組みました。

本シンポジウムではその研究成果を紹介すると共に、成果から導き出された未解決課題についても紹介します。

12月6日（木） 13:15～17:00

**参加無料
事前登録制**

[shiitakesaikai2018@ml.affrc.go.jp宛に](mailto:shiitakesaikai2018@ml.affrc.go.jp)
①所属、②氏名（ふりがな）
を添えてお申し込み下さい。

※会場の都合により180名を超えましたら締め切らせて頂きます。



会場
三会堂ビル 9階
東京都港区赤坂1-9-13

石垣記念ホール（講演）
第2会議室（検査装置紹介）

**主催：シイタケ再開共同研究機関
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所**



本シンポジウムは、平成30年度イノベーション創出強化研究推進事業（旧農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業）「28028C放射能汚染地域における原木生産林の利用再開・再生技術の開発」の成果を取り纏めたものです。